

## 駅前商店街まちあるき体験

神奈川県立山北高等学校  
教諭 小川 牧子

### 1. 山北駅前商店街について

山北町は豊富な水資源を古くから活用し生業としてきた歴史がある。水田を使った農業、酒造りや豆腐作りなどは、古くから山北町で行われてきた。

東海道本線の重要基地として栄えた時代は、駅前商店街は非常に活気があった。駅弁として鮎寿司が販売され、人気を博していた。また、昭和40年代までは遊興施設も多くあり、2つの映画館が興行していた。

しかし、少子高齢化の進行や他地域への転出などにより、平成7年頃から継続して人口が減少している。人口減少の要因のひとつとして雇用の減少が言われている。駅前商店街も、人口減少に伴い活気を失っている。

駅前商店街の活性化のために、山北町商工会と山北町商店振興会が努力してさまざまな取り組みを行っている。その例として、朝市と夕市がある。朝市は、駅前観光案内所/ふるさと交流センターとコンビニ横のスペースを活用して毎月第一日曜日に開催している。地元の農作物販売や商店街のお店の出店、雑貨販売などのほか、抽選会などのイベントも開催している。夕市では、地元商店に加えて県内の多くの店舗が出店しストリートライブやダンスパフォーマンスを行い、D52復活にからめた鉄道関連のイベントを企画している。

山北町の商店の減少などによる「買い物困難者」の増加は非常に大きな課題となっている。その中で、山北町に移住して起業し、リヤカーによる出店で買い物困難者の問題に取り組む町外出身の人も増えている。

### 2. 実施方法

駅前商店街まちあるき体験に参加した生徒は43名いた。3班に分かれてルーティン方式で駅周辺を散策した。各班に1人コーディネータの方についていただき、各場所で山北町の歴史や商店街のお店についての説明をしていただいた。

(駅前商店街まちあるきの様子)



### 4. 実施内容

#### ①山北町ふるさと交流センター



御殿場線山北駅前のふるさと交流センターで山北町の歴史や商店街の発展と衰退についての話を聞いた。そこで、山北町の名産である石炭糖を試食した。



## ②商店街散策

駅前商店街のお店をいくつか周り、試食をした。田中屋牛豚肉店では、コロッケを試食した。豆腐屋の(有)絹華では、豆腐を作っている様子を見学し、その後温かい豆乳を試飲した。(有)丸善商店では、おいなりさんを試食した。



やまきたさくらカフェでは、コーヒーの試飲をした。



## ③御殿場線

御殿場線が昔東海道本線であったことや、山北駅周辺の線路沿いに桜の木が植えられており、春になると綺麗な桜のトンネルが見られること等を説明していただいた。

## 5. 成果

これまでは、山北高校校の周辺や山北町の生涯学習センターにしか訪れたことのない生徒も多くいた。そんな中、山北町の商業の中心部である駅前商店街を散策することで、さまざまな発見があった。生徒の中には、「意外にお店がある」といった驚きの声がある一方、シャッターが閉まったままの建物の多さに言及する生徒もいた。商店街を散策し、試食などをすることで、山北町の商店街の課題は何か、そして課題を解決するにはどうしたらよいか、等について自由に議論する様子も見受けられた。

## 6. 課題

今回のまちあるきで感じた課題感や解決へのアイデアなどを、今後の探究活動に活かしてほしい。また、今回協力していただいたお店と協働した探究活動も今後展開していきたい。



## 歴史遺産巡り体験

神奈川県立山北高等学校  
教諭 小野寺 温子

### 1. 河村城跡について

河村城は、南北朝時代に、秀郷流藤原一族の波多野遠義の次男・河村秀高が、山頂付近に砦のような物を築いたのが始まりと言われており（南北朝時代の記録に「河村城」という記述があるため）、今の河村城は、戦国時代北条氏の城だった頃の姿を残している。城の形態は山城というものであり、小田原城のような水を蓄えた大きな堀や石垣、天守閣はない。山の凹凸のある地形を生かし、敵に攻められにくいように作られ、戦になったときだけ使われた城である。そのため、人々は普段、山の南側の麓にある平らな土地に河村館で生活していたと見られている。

戦国時代において、北条氏は関東一帯を領地としていたが、甲斐国の武田氏と駿河国の今川氏に備え、敵が領地に侵入するのを見張る最前線の城（出城）として河村城を重要視していた。周辺には、松田城跡や足柄城跡など、北条氏の城や砦の跡が多数あり、外部への警戒の強さが伺える。

山北町では、河村城跡史跡整備マスタープランに基づき、調査と当時の姿を分かりやすく伝えるため



の整備を継続し、遺跡本来の景観を保護しながら、学習の場・憩いの場として活用することにより来訪者に親しまれる史跡になるよう推進している。

### 2. 室生神社について

山北町中川にあったものを、天正8年に今の地域に移転させ、その後、地主神として祭られている天神の社（現在地）に遷宮したもの。祭神は建御名方尊、日本武尊、菅原道真など、27祭神を合祀している。境内には、神奈川県の指定天然記念物にされている銀杏（推定樹齢：約300年）や、かながわの名木100選と山北町の指定天然記念物にされている菩提樹など、樹高約25mの樹が多数ある。

毎年11月には、室生神社の例大祭に神事として流鏝馬が行われている。河村義秀が鎌倉で行った建久元年の流鏝馬が始まりとされており、農家の人々によって受け継がれていた時期も含め、現在まで約800年余り続くこの神事は、神奈川県指定の無形民俗文化財になっている。



### 3. 実施内容

①山北町役場駐車場からバスで降車し、山北鉄道公園に移動。昔は御殿場線が東海道本線であったことや、山北町も鉄道の町として栄えていたこと、野外で展示されているD52型機関車（日本最大の貨物用機関車：通称デゴニ）が12m動く姿を日本で唯一見られることなどを説明していただいた。

②河村城跡の山頂に向かって斜面を歩きながら、河村城が山の凹凸のある地形を生かして作られた山城であることや、堀の中に高さ2～3mほどの土壁のようなものを並べて敵が堀の中を自由に移動できないようになっていること（障子堀という）などを説明していただいた。



③河村城跡の山頂において、堀の上にかかっている橋を渡りつつ障子堀を実際に見ながら再度説明していただいた。途中から、自作の甲冑に身を包んだ本校国語科教員とも合流し、歴史の面白みを味わった。



④往路とは別の道を下って、室生神社に向かった。神社がもとは別の場所にあったことや、お寺にあることが多い菩提樹がこの神社にあるのは珍しいということ、農家の人々によって流鏝馬が受け継がれていた時期は、三つの的の当たり矢によって翌年の稲作を占っていたことなどを説明していただいた。



#### 4. 成果

山北町の歴史に触れつつ自由に意見を交わしながら散策することで、生徒の山北町への関心が高まったように感じた。普段の授業ではあまり生き生きとした様子を見せない生徒も、町の歴史や景色を自らメモや写真で記録しており、生徒の特性に合った授業や生徒を引きこむ授業の重要性を再認識した。

#### 5. 課題

参加人数縮小やコースの中で二手に分けるなど、案内の方の声をより聞き取りやすくする工夫が必要であると感じた。また、堀の作り方や菩提樹の基本的な使用場所など、歴史の流れには興味がなくとも別の要素で興味を持てたので、そういう面白さをもっと追求すれば町に人が訪れそうだと思う。

未病

神奈川県立山北高等学校  
教諭 松尾 駿哉

1. はじめに

2学期の未来探究では、未病にテーマを絞り、「ぼくたちのME-BYOプロジェクト」と題をつけて、山北高校×神奈川県×アサヒ飲料のコラボレーション授業をCATAPULTの協力を受けながら行った。

授業は全6回行い、その中の1、3、6回目をCATAPULTと連携をした。展開としては、①ME-BYOの理解。②ME-BYOの情報発信（制作）。③ME-BYOの情報発信（発表）の3つであった。教室で行うこともあったが、全体への説明や発表などは、本校体育館や山北町生涯学習センターをお借りして行った。



2. 授業の内容

2-1 1日目 ①ME-BYOの理解

1時間目の授業は3時間のうち、最初の2時間は体育館、3時間目は教室で行った。

まず1時間目は神奈川県副知事である首藤健治様に講義をしていただいた。「神奈川県が創り出す新しい社会システム」というテーマで、超高齢社会や人生100歳時代、AIロボット、MIMOSYSなど、多くのことをお話しいただき、ME-BYOについての理解を深めた。

次に2時間目は、約200名を4～5名の42グループに分けて、「ME-BYOをどう理解して、同世代へどのように情報発信するか」というテーマでワークショップを行った。

構成は大きく分けて、

①ME-BYOとは何か？ 自分たちの言葉を作る。

「自分たちのME-BYOとは〇〇だ」

②同世代へ何を伝えたら響くかを検討する。

③何で伝えるのが効果的か、媒体を決める。

の3つであった。

えんたくんを使用し、教員、県の職員、アサヒ飲料の方、CATAPULTの方がファシリテーターとして入り、生徒を見守り、助言した。3時間目は場所を教室に移動し、2時間目の続きをおこなった。

2-2 2日目 ①ME-BYOの理解

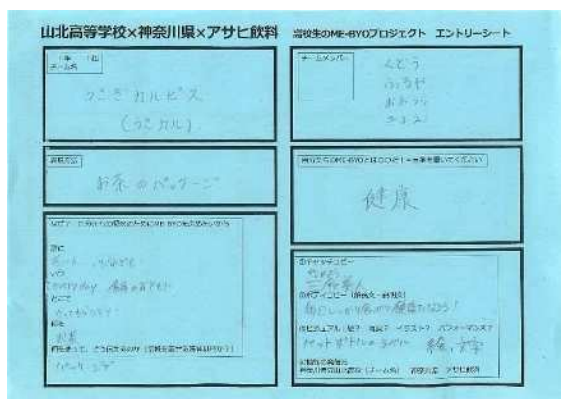
この日は教室で、2時間前回の続きを行った。

2-3 3日目 ②ME-BYOの情報発信（制作）

この日は山北町生涯学習センターへ行き、2時間行った。「ME-BYOをどう理解して、同世代へどのように情報発信するか」というテーマは変わらないが、映像、編集、コピーライティング、放送作家などのクリエイターに来ていただき、表現方法やキャッチコピー、情報発信媒体の構成を各班で考えた。



また、最終日の発表に向けて、下の写真のようなエントリーシートを各班に配り、これまでの3日間のまとめを行った。



2-4 4日目 ②ME-BYOの情報発信(制作)

2-5 5日目 ②ME-BYOの情報発信(制作)

4日目、5日目では、前回までに決めた、情報発信媒体の制作の続きを行った。

2-6 6日目 ③ME-BYOの情報発信(発表)

最終日は、山北町生涯学習センターへ行き、発表会を行った。グループをAグループ、Bグループの2つに分け、まずは各班1分で発表し、教員、県の職員、アサヒ飲料の方、CATAPULTの方が審査員となり、上位10チームを決めた。そして、上位10チームによる発表を各班2分で行い、再度審査し優勝チームを決めた。



### ①ルーブリック評価

1学期の未来探究の反省として、ルーブリック評価を作ることがあったので、「山北」の授業に引き続き使用した。A・B・Cの評価基準を提示し、生徒自らが自己評価することで、1回目より2回目の評価が上がっている生徒もいたので、目標がある分取り組みやすいのではないかと思った。

### ②発表の情報媒体

今回のコラボレーション授業では、実際に映像やポスター、放送作家の方々に来ていただき、本格的に媒体を制作した。今までの授業では、模造紙やポスターだったので、前回までに比べて多種多様な媒体があり、それぞれに工夫されていて、よりグループの色が出ていて発表のレベルが上がっていたように感じた。

### ③発表の仕方

未来探究の授業での発表が3回目ということもあり、発表することにも慣れ、堂々と話している生徒が増えたと感じた。ただ、人に伝えるという観点ではまだ充分ではなく、原稿を読むだけでなく、何回も何回も練習し、見なくても話せて、伝えられるような発表を3学期はできるようにしたいと感じた。

### ④ファシリテーター

今回ファシリテーターという役割で授業に参加したが、ファシリテーターの基本的な考え方に、他者の意見は否定しないことがある。どうしても議論が停滞していると、意見を言いたくなったり、より良い案を助言したくなったりするが、今回は見守ることを意識して行った。もちろんすべての班ができてはいないが、生徒に主体的に考えさせることで、大人では出ないような発想が出ていた。次回以降も今回のような役割をしていきたいと思った。

## 3. 成果

全10時間に渡り未病学習を実施した。当初はグループワークに対し消極的な生徒も見られたが、授業を重ねるごとに議論も深まり、こちらの予想以上の成果物の作成並びに発表会での発表を生徒は実現した。また、振り返りにおいては、自分事化できている様子も伺えた。今年度の目標である、「知る」と「自分事化」を実践できている様子が伺えた(成果詳細はP42別紙)。

<別紙 成果詳細>

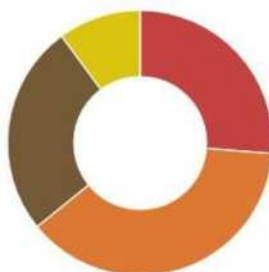
未病学習における成果（振り返りアンケートより一部抜粋）

設問1 チームの制作物は、一番伝えたいことが伝わるように工夫できましたか。



○ 選択肢1	106人(53.5%)	実践できた
○ 選択肢2	64人(32.3%)	少し実践できた
○ 選択肢3	8人(4.0%)	今後取り入れたい
○ 未回答	20人(10.1%)	

設問2 聴き手を惹き込むような発表方法の工夫ができましたか。



○ 選択肢1	52人(26.3%)	実践できた
○ 選択肢2	75人(37.9%)	少し実践できた
○ 選択肢3	51人(25.8%)	今後取り入れたい
○ 未回答	20人(10.1%)	

設問3 ME-BYO プロジェクトを振り返って、あなたは何を学び、どう成長しましたか？うまくできたことやできなかったことを踏まえて書きましょう。（自由記述）

- ・未病にならないためにすることを詳しくわかったのでよかった
- ・最初は、めんどくさいなあと思いながらやっていましたが、未病のことを深く知っていくうちにグループ活動や未来探究の時間が楽しみになり、大変でしたが、未病のような難しいことを考えるのは1つの良い経験になったと思います。
- ・高校一年生で未病について学べて発表もできてみんなに伝えられたので良かったです
- ・仲間との協力をしていけばいい結果がある。自分達の班は仲間と協力したのでいい結果で終わったこと。このことで家族や近所の人と協力できたことです。
- ・未病はいつなるかわからないので、しっかり規則正しい生活を送ろうと思った
- ・未病とは自分たちが自覚なくわからないのが怖いと思った
- ・発表の仕方や、未病とはなにか未病は防げるのか理解することが出来た。今回初めて未病について触れたから、誰かに伝える発信源になれたらいいと思えた。
- ・未病について特に知らなかったけど知ってみると興味が湧きました
- ・みんなと、調べ、学び、まとめ 未病のことをどうしたら伝わり、またどう改善できるかを調べました。もっと練習しとけば良かった
- ・相手に自分たちの考えがあまり分かりやすく伝わらなかったと思う、でも、チーム内で考え作成する力協力する力は身についたと思う。
- ・最初は未病なんて自分には関係ないとは思ったが身近な病気であることがわかりました。班との関わりや、説明などを聞いたりしていくうちに未病についての知識が少しずつ増えて興味が湧いてきました。またこれからも未病とは何か考えていきたいです。
- ・みんなとどういふふうに伝えるかを考えて自分の考えを相手に伝えることが出来ることが成長した。
- ・未病がどんなものなのかを知ることができた。また、未病にSDGsを関連させることができなかった。
- ・ひとつのことを深く掘り下げそれを発表するということが初めてだったのでひとつの経験になった。

（一部抜粋）

「ぼくたちの ME - BYO プロジェクト」 生徒グループ活動表

A グループ

NO.	表現方法	自分たちの ME-BYO	キャッチコピー
1	動画 CM	からだにちょっといいこと	ちょっとしたこと
2	CM	病気じゃない病気	びみょうな ME - BYO
3	和菓子をつくる SNS で発信		健康けっこう大事
4	新聞	自分の好きなことをすることだ	自分も好きなことをすること
5	映像	Smile☺だ	笑顔はええ顔
6	ポスター	食、運動、社会参加 好きなことで気分転換	ME-BYO・KI-BO・YO-BO
7	アニメーション	規則正しい生活	ボンヤリ生きてんじゃねーよ！
8	映像・スピーチ	生活習慣が正しいこと	便利の裏に潜む“罠”
9	ポスター	長生きすること	百歳と百才
10	動画	知ったら得する ME-BYO (メーボウ)	知ったら得する ME-BYO (メーボウ)
11	スライド	食生活だ！	食と健康紙一重
12	絵本	人生を楽しむ&計画すること	未病で見よう！自分の将来を
13	CM	死に近い状態 (大げさな表現を使って若い人たちに興味を持たせる)	ME は BYO 気
14	CM	一生つきまとうものだ	未病から健康に飛び立とう。
15	ポスター	幸せを感じることだ！	未病を考えて未来の幸せをつかもう！
16	MV	人生を楽しく生きること	進化する「医療」の中に
17	絵本	本で ME-BYO を伝えること	本で伝える ME-BYO について
18	広告	気軽に運動をして健康な体を保つ →そのために忙しい人にも運動をするための時間を作ってほしい	MOVE!!
19	ポスター	HAVE A GOOD SLEEP ～質の良い睡眠を～	HAVE A GOOD SLEEP
20	ポスター	未病を学ぶということは、生きるということ！	未病を学ぶということは、生きるということ！



## B グループ

NO.	表現方法	自分たちの ME-BYO	キャッチコピー
1	ひめくりカレンダー	未病って ME-BYO じゃない？ なんで ME-BYO なの？ これじゃめびょうじゃないの	BE-MYO な ME-BYO って三回言ってみてください
2	映像	「愛だ」	体と未来を変えよう
3	ポスター	一石二鳥だ	ポケモン GO で健康 Get!
4	お茶のパッケージ	健康	始めよう三食美人
5	SNS、ポスター	100 才まで生きることだ！！	2100 年びんどこねー
6	LINE		毎月おかあさん ～お母さん、これが僕の親孝行～
7	CM	隣人だ！	未病撲滅
8	ポスター	丈夫な体をつくること	未病改善で丈夫な体をつくろう！
9	映像	長生き	寿命は餅
10	CM	愛だ！	若き頃の愛をもう一度
11	パワーポイント	山北高校	ME-BYO に START!
12	映像	好きな時に好きなことをして 好きなだけ楽しむことだ！	3 秒の習慣は未病につながる
13	ポスター	健康	歩こう！健康！
14	すごろく	未来	病気か健康か～あなたはどっち？さあ スゴロクへ！～
15	CM 広告	自己管理だ！	To protect life
16	ポスター	3つの習慣	【未病＝三病】 3つの病気
17	マンガ	健康になるための意識改善・行動だ！	「君の体は」
18	ポスター	病気の「芽」	やや寒き 不穏な未病 遣ってきたり
19	ポスター	いっぱい笑うこと☺♥	未知なる健康を手に入れよう
20	絵本	食べ物/寿 MYO は ME-BYO で長くし YO	寿 MYO は ME-BYO で長くし YO

## 防災

神奈川県立山北高等学校

教諭 和泉吉昭

中澤 聡

### 防災基調講演

令和2年1月9日(木)午後2時間を、山北町生涯学習センターホールを活用して、山北町の防災の現代的課題を共有化して探究学習をスタートさせるために、山北町総合防災課職員稗田裕文氏とヤフー(株)兼「きっかけ食堂」代表武田彩氏のお二人を講師として招聘して講演会を実施した。

『山北町の地域防災の課題について』と題しての稗田裕文氏の講演では、具体的に山北町の地理的範囲と産業や、人口と年齢構成などをスライド形式で再認識を図り、その後台風19号の被災状況の生々しい記録写真を見ながら防災上の課題を解説していただいた。生徒の感想の主なものは、

- ・約9割が山林のため高い防災意識が必要。
- ・山北町防災マップの読み込みが大切。の二点。

『様々な災害とその防災及び避難等の課題について』と題しての武田彩氏の講演では、阪神淡路大震災の年に誕生され、東日本大震災を期に被災者に自身を寄り添わせ、復興支援ボランティアとしての活動をご紹介いただいた。特に1995年以降の法整備の進展や避難所のさまざまな課題に講義が及んだ。生徒の感想の主なものは、

- ・「災害時要援護者」への理解とその支援策が不可欠。
- ・自助、共助、公助+互助の意識が大切。の二点。

講演会后、今後の主体的学習の方向性とグループ分けの説明を聞き、グループ選択シートを記入して解散。

#### 防災の視点から見た地域探究テーマ別グループ

- Aグループ … 過去の災害記録の調査と現実的なインフラ整備等の対応について
- Bグループ … 予測可能な災害の種類と避難生活等の対応について
- Cグループ … 山北町防災マップを基とした立体的地形図製作とDIGによる課題探究

### 「未来探究」(防災学習)

#### —災害に強いまちづくりをめざして—

1月23日(木)、1月30日(木)、2月6日(木)実施  
クラス内を Aグループ(6人×2グループ)

Bグループ(6人×2グループ)

演習室を Cグループ(各クラス6人×6グループ)  
として各グループごとに探究活動を開始。

#### 1. 学習内容

##### 【Aグループ】

山北町の過去の災害記録から、地震災害、風水害、火山災害が主な調査対象と考えた他、火山活動関連で噴火や火山灰被害などをテーマに絞り込む事でグループ内の意識の方向性を持たせた探究が主流となった。現実的なインフラ整備等の対応については、御殿場線矢が陸橋やR246の老朽化や東名高速都立良野トンネル等の災害時の話題となった。

##### 【Bグループ】

基調講演から得られた「災害時要援護者」への理解とその支援策が不可欠という観点から避難生活者をいかなるスタンスから支援し、「自助、共助、公助+互助」の意識を醸成できるかに意見が集中した。特に、7箇所の「広域避難所」の多くが土砂災害警戒区域に近い場所でありながら、現在指定されている点は、避難所のスピーディーな開設以前の課題として多くのグループから指摘が出た。また、約9割が山林である地域的課題として、災害時の初期対応やその後のライフラインの維持についても改善提案が挙げられた。

##### 【Cグループ】

立体的地形図製作については、山北町防災マップを基として包含厚紙で型紙を100メートルごとに丁寧に作り、この型紙×5枚を100メートルとしてボンド付けして約100CM×80CMの等高線入り立体地図を製作し、6割程度完成。それを見ながら、国府津・松田断層を中心とした山北町内の断層を

「山北町防災マップ」に書き入れ、将来的なインフラの改善提案の検討を協議した。ここでも広域避難所の有効性について議論が高まった。次年度は、更に提案を現実化すべくデータ等を集め、探究が深まる施策を検討したい。

## 2. 成果

当初の予定より時間数が短くなったが、各グループにおいて主体的、協働的に学ぶ姿が多く見られた。特に「未来探究」における最後の単元ということもあり、教員が本時の到達度を明示するだけで、生徒自身が chromebook や BYOD を活用し主体的に学習を行う姿が見られた。また、地域協働学習支援に積極的に質問する姿も見られた。

## 3. 課題

来年度は学校設定科目として「地域防災」が始まる。今年度の学びがより深まり地域へ還元できるよう、授業を展開していきたい。

【評価ルーブリック・アンケート調査】

2学期 未来探究 山北 自己評価ルーブリック

観点	評価項目	到達度			自己評価	
		A (素晴らしい!)	B (いいね!)	C (もう少し頑張ろう)	到達度 (A~C)	評価理由
知識 技能	SDGs との関わり	SDGs との関わりを理解して発表できた。	SDGs との関わりを意識して活動できた。	SDGs との関わりを意識して活動できなかった。		
	探究方法 (調査手法)	信頼できる情報源から情報を集め、調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報に対して参考文献を書けていない。		
思考 判断 表現力	課題発見力 (今回はなし)					
	分析力	調べた情報を、テーマに基づいて説得力が出るように分かりやすく整理できている。	調べた情報を、テーマに基づいて整理できている。	調べた情報がテーマに沿わないものである。		
	論理的思考力 批判的思考力	調べた情報から、山北町の良さの生かし方について色々な面から考察できている。	調べた情報から、山北町の良さの生かし方について考察できている。	調べた情報から、山北町の良さの生かし方について考察できていない。		
	伝達力・発信力	調べた情報や考察したことを、説得力が出るように整理できている。目線・話すスピードを意識し、聞き手に分かりやすく説明できている。	調べた情報や考察したことを、目線・話すスピードを意識し、聞き手に分かりやすく説明できている。	調べた情報や考察したことを、聞き手に分かりやすく説明できていない。		
主体的に取り組む態度	主体性・協働性	主体的に情報を収集し、グループの話し合いにも積極的に貢献できた。	主体的に情報を収集し、グループの話し合いに参加できた。	主体的に情報を収集することが出来ず、グループの話し合いにも参加できなかった。		

2学期 未来探究 山北 他者評価ルーブリック

観点	評価項目	到達度			他者評価 到達度 (A~C)					
		A (素晴らしい!)	B (いいね!)	C (もう少し頑張ろう)	班	班	班	班	班	班
知識 技能	SDGs との関わり	SDGs との関わりを理解して発表できた。	SDGs との関わりを意識して発表できた。	SDGs との関わりを意識して発表できなかった。						
	探究方法 (調査手法)	信頼できる情報源から情報を集め、調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報に対して参考文献を書けていない。						
思考 判断 表現力	分析力	調べた情報を、テーマに基づいて説得力が出るように分かりやすく整理できている。	調べた情報を、テーマに基づいて整理できている。	調べた情報がテーマに沿わないものである。						
	論理的思考力 批判的思考力	調べた情報から、山北町の良さの生かし方について色々な面から考察できている。	調べた情報から、山北町の良さの生かし方について考察できている。	調べた情報から、山北町の良さの生かし方について考察できていない。						
	伝達力 発信力	調べた情報や考察したことを、説得力が出るように整理できている。目線・話すスピードを意識し、聞き手に分かりやすく説明できている。	調べた情報や考察したことを、目線・話すスピードを意識し、聞き手に分かりやすく説明できている。	調べた情報や考察したことを、聞き手に分かりやすく説明できていない。						

2 学期 未来探究 未病 自己評価ルーブリック

1 年 組 番 氏名

①11/21 (木) 今日の自分の到達度に当てはまるマスに黒で○を付けよう。

②11/28 (木) 今日の自分の到達度に当てはまるマスに赤で○を付けよう。

③12/12 (木) これまでの未病学習を終えた自分の到達度を A～C から選び、理由も記入しよう。

観点	評価項目	到達度			最終自己評価 (12/12)	
		A (素晴らしい!)	B (いいね!)	C (もう少し頑張ろう)	到達度 (A～C)	評価理由
知識	SDGs との関わり	SDGs との関わりを理解して発表できた。	SDGs との関わりを意識して活動できた。	SDGs との関わりを意識して活動できなかった。		
	探究方法 (調査手法)	信頼できる情報源から情報を集め、調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報に対して参考文献を書けていない。		
思考	課題発見力	「未病」について自分事として課題を発見できている。	「未病」について課題を発見できている。	「未病」について課題を発見出来ていない。		
	分析力	「未病」について十分に調べられており、「未病とは何か」を自分事として整理できている。	「未病」について調べられており、「未病とは何か」を整理できている。	「未病」について理解できておらず「未病とは何か」を整理できていない。		
判断	論理的思考力 批判的思考力	未病の伝え方について色々な方法の中から考察できている。	未病の伝え方について考察できている。	未病の伝え方について考察できていない。		
	表現力	調べた情報や考察したことを、説得力が出るように整理できている。表現方法を工夫して分かりやすく伝えられている。	調べた情報や考察したことを、表現方法を工夫して分かりやすく伝えられている。	調べた情報や考察したことを、表現方法を工夫して伝えられていない。		
主体的に取り組む態度	主体性・協働性	主体的にアイデアを出し、グループの話し合いにも積極的に貢献できた。	主体的にアイデアを出し、グループの話し合いに参加できた。	主体的にアイデアを出すことが出来ず、グループの話し合いにも参加できなかった。		

2 学期 未来探究 未病 他者評価ルーブリック【12/12 (木)】

1 年 組 番 氏名

		A (素晴らしい!)	B (いいね!)	C (もう少し頑張ろう)	組 番 氏名														
					組 班	組 班	組 班	組 班	組 班	組 班	組 班	組 班	組 班	組 班					
知識	SDGs との関わり	SDGs との関わりを理解して発表できた。	SDGs との関わりを意識して発表できた。	SDGs との関わりを意識して発表できなかった。															
	探究方法 (調査手法)	信頼できる情報源から情報を集め、調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	調べた情報に対して参考文献を書けていない。															
思考	課題発見力	「未病」について自分事として課題を発見できている。	「未病」について課題を発見できている。	「未病」について課題を発見出来ていない。															
	分析力	「未病」について十分に調べられており、「未病とは何か」を自分事として整理できている。	「未病」について調べられており、「未病とは何か」を整理できている。	「未病」について理解できておらず「未病とは何か」を整理できていない。															
判断	論理的思考力 批判的思考力	未病の伝え方について色々な方法の中から考察できている。	未病の伝え方について考察できている。	未病の伝え方について考察できていない。															
	表現力	調べた情報や考察したことを、説得力が出るように整理できている。表現方法を工夫して分かりやすく伝えられている。	調べた情報や考察したことを、表現方法を工夫して分かりやすく伝えられている。	調べた情報や考察したことを、表現方法を工夫して伝えられていない。															



### 3 学期 未来探究 防災 自己評価ルーブリック

1 年 組 番 氏名

- ①1/23 (木) 今日の自分の到達度に当てはまるマスに黒で○を付けよう。
- ②1/30 (木) 今日の自分の到達度に当てはまるマスに赤で○を付けよう。
- ③2/6 (木) 今日の自分の到達度に当てはまるマスに青で○を付けよう。

④2/27 (木) これまでの防災学習を終えた自分の到達度をA～Cから選び、理由も記入しよう。

観点	評価項目	到達度			最終自己評価 (2/27)	
		A (素晴らしい!)	B (いいね!)	C (もう少し頑張ろう)	到達度 (A～C)	評価理由
知識	SDGs との関わり	<u>2つ以上</u> のSDGsの目標との関わりを理解して活動できた。	SDGs との関わりを意識して活動できた。	SDGs との関わりを意識して活動できなかった。		
	探究方法 (調査手法)	<u>3つ以上</u> の情報源から情報を集め、調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	2つ以上の情報源から情報を集め、調べた情報全てに対して参考文献を書けている。	情報源が1つ以下であり、調べた情報に対して参考文献を書けていない。		
思考	課題発見力	「防災」について <u>自分事として</u> 課題を発見できている。	「防災」について課題を発見できている。	「防災」について課題を発見出来ていない。		
	分析力	テーマについて十分に調べられており、情報を <u>自分事として</u> 整理できている。	テーマについて調べられており、情報を整理できている。	テーマについて理解できておらず情報を整理できていない。		
表現力	論理的思考力 批判的思考力	課題解決の提案を <u>2つ以上</u> 出せている。	課題解決の提案を1つ出せている。	課題解決の提案を出せていない。		
	伝達力・発信力	調べた情報や考察したことを、 <u>説得力が出るように</u> 整理できている。工夫して表現できている。	調べた情報や考察したことを、工夫して表現できている。	調べた情報や考察したことを、工夫して表現できていない。		
主体的に取り組む態度	主体性・協働性	主体的にアイデアを出し、グループの話し合いにも <u>積極的に</u> 貢献できた。	主体的にアイデアを出し、グループの話し合いに参加できた。	主体的にアイデアを出すことが出来ず、グループの話し合いにも参加できなかった。		

地元への興味・関心及び探究的学びに関するアンケート調査

項目	肯定的意見		否定的意見		未回答	
	2019年 4月	2020年 2月	2019年 4月	2020年 2月	2019年 4月	2020年 2月
地元（山北町）への興味・関心に関する項目						
山北町のこと（自然・文化・歴史・産業・地域活動など）について、興味や関心を持っていますか？	55.0%	53.5%	44.5%	37.4%	0.5%	9.1%
山北町の抱える課題について、感じたり、考えたりしたことはありますか？	27.8%	61.1%	71.7%	29.8%	0.5%	9.1%
山北町をよりよくするために、山北町の問題解決に関わりたいと思いますか。	66.7%	57.1%	23.2%	33.8%	1.0%	9.1%
家族や友人以外の山北町の人と交流したことがありますか。	19.7%	40.9%	79.8%	50.0%	0.5%	9.1%
山北町で生活したいと思いますか。	17.6%	18.7%	81.8%	71.8%	0.5%	9.6%
山北町に関する仕事や職業に就いてみたいと思いますか。	9.6%	16.7%	89.9%	73.7%	0.5%	9.6%
山北町の役に立ちたいと考えていますか。	64.6%	58.6%	34.3%	31.8%	1.0%	9.6%
山北町のが好きですか。	71.7%	62.6%	27.3%	27.3%	1.0%	10.1%
探究的学びに関する項目						
自分の関心のあることについて、自主的に知ろうとしたり、やってみようとしたりしますか。	83.3%	64.7%	15.6%	25.3%	1.0%	10.1%
身の回りにある課題を発見し、その解決に向け、取り組むことができますか。	75.3%	61.1%	24.2%	28.8%	0.5%	10.1%
自分の立てた目標の達成に向けて、計画的に取り組むことができますか。	73.8%	63.2%	25.7%	26.8%	0.5%	10.1%
今までに身の回りにある課題の解決方法について、自ら考え、行動し、解決したなどの経験はありますか。	83.4%	67.7%	16.2%	22.2%	0.5%	10.1%
グループなどで協力しながら、学習や活動を行うことができますか。	90.4%	78.3%	9.1%	11.6%	0.5%	10.1%
身の回りの事柄に関心を持ち、身近な人々や地域の取組などに関わったり、協力したりすることができますか。	82.3%	72.8%	17.2%	17.1%	0.5%	10.1%
幅広い年齢の人々と関わり、相手の意見や考えを尊重し、思いやりを持って接することができますか。	90.4%	79.8%	9.1%	10.1%	0.5%	10.1%
これまでの学習活動において、課題の設定・情報の収集・整理や分析・まとめや表現などの活動を繰り返していく学習や活動に取り組むことができましたか。	69.7%	74.8%	29.8%	14.6%	0.5%	10.6%

(4件法によるアンケート調査)